

平成28（2016）年度

私費外国人留学生
選抜要項



大阪市立大学

●本学の理念・基本方針等について

大阪市立大学の理念

- 大学の普遍的使命－優れた人材の育成と真理の探究－の達成
- 市民の誇りとなる大学
 - ・都市を学問創造の場としてとらえ、都市の諸問題に英知を結集して正面から取り組む。
 - ・教育及び研究の成果を都市と市民に還元し、地域社会及び国際社会の発展に寄与する。
- 市民に親しまれる大学
 - ・都市型総合大学として、都市・大阪の伝統と文化を継承する。
 - ・自由で創造的な教育と研究及び高水準の医療を推進する。
 - ・市民とともに、都市の文化、経済、産業、医療などの諸機能の向上を図り、真の豊かさの実現をめざす。

教育の基本方針

- 都市・大阪を背景とした市民の大学という理念に立脚
- 人類の幸福と発展に貢献
- 様々な分野で指導的役割を果たし、社会で活躍する人材の育成

研究の基本方針

- 新しい知の創造をめざす独創的で特色ある研究を推進
- 都市が抱える様々な課題に取り組み、成果を都市と市民に還元し、地域社会の発展に寄与
- 新しい産業を生み出す芽となる研究を推進し、その成果を社会に還元

人材育成の目標像

優れた専門性、実践性、国際性を有し、総合的な判断力と豊かな人間性を備え、社会に積極的に参加する市民的公共性を持った人材の育成

ディプロマポリシー

大阪市立大学は、市井の精神に発した自主独立・自由進取の気風あふれる建学の伝統と、国際的にしてかつ個性的な研究および、高度にしてかつ闊達な教育環境を活かしながら、真善美の価値判断を身につけ英知と市民的公共性を備えた有為な学生、人類の幸福と発展に貢献するため、さまざまな分野において指導的役割を果たし、社会で活躍する学生を育成することを目指しています。

学士課程のディプロマポリシー

そのために、大阪市立大学は、学士課程教育を通して、現代人として必要な基本的教養の習得と国際感覚の練磨をめざした教育を行うとともに、専門知識と総合的知識の双方を基礎にして物事を思索し、理解力、洞察力、実践力、指導力、解決力および品性を兼ね備えた全人的学生を養成します。

この目標を達成するために、所属学部において定める専門分野に関する知識・技能等を身につけ、学部の教育理念や目的に沿った指導を受け、所定の期間在学して所定の単位を修得し、審査や試験に合格した学生に学位を授与します。また、全ての学生が、（知識・理解）（技能）（実践的姿勢）（統合的な学習経験と創造的思考力）の領域で以下の具体的な学修成果を修めることをめざします。

(知識・理解)

- ・多文化・異文化を尊重し、理解を深めることができる。
- ・人間と文化、科学と技術、社会と歴史、環境と健康に関する知識を尊重し、理解を深めることができる。
- ・高度な専門知識を体系的に学び、それに基づき柔軟な思考ができる。

(技能)

- ・日本語と特定の外国語を用いて、それぞれに求められる水準で読み、書き、聞き、話し、他者とコミュニケーションをすることができる。
- ・情報通信技術(ICT)などを用いて多様な情報を収集・分析して適切に判断し、モラルに則って効果的に活用することができる。
- ・情報や知識の複眼的、論理的分析に基づき、批判的思考（クリティカル・シンキング）を行い、その結果を言語や記号で表現することができる。

- ・問題を発見するスキルや、解決に必要な情報を収集・分析・整理するスキルを獲得し、その問題の解決に立ち向かう実践力を身につけることができる。

(実践的姿勢)

- ・自分で考え、良心に従い、社会のルールを尊重して自分の責任で判断し行動できる。
- ・他者と協調して行動でき、また、必要に応じて他者に方向性を示し、リーダーシップをとることができる。
- ・地域をはじめとする社会の一員としての意識を持ち、社会の発展のために積極的に関与できる。
- ・自ら学ぶ姿勢を身につけ、生涯にわたって進んで学習できる。

(統合的な学習経験と創造的思考力)

- ・これまでに獲得した知識・技能・実践力等を総合的に活用し、自らが立てた新たな課題にそれらを適用し、その課題を解決することができる。

カリキュラムポリシー

1. 「現代人として必要な基本的教養の習得と国際感覚の練磨をめざした教育を行うとともに、専門知識と総合的知識の双方を基礎にして物事を思索し、理解力、洞察力、実践力、指導力、解決力および品性を兼ね備えた全人的人材を養成する」との大坂市立大学憲章に基づき、すべての学部で学ぶ学生が、「ディプロマポリシーに掲げた学修成果」に示された知識・技能等を獲得できるように、次の科目群を全学共通教育科目として設置する。学生は自らの学習意欲と興味関心、キャリアデザインに応じて、また各学部が定める履修規程に従って受講科目を選択する。

(ア) 「人間と環境」「都市・大阪」「生命と人間」「人間と社会」「歴史と文化」「自然と人間」「情報と人間」に関する総合教育科目

(イ) 英語と英語以外の外国語科目

(ウ) 数学をはじめ自然科学分野の基礎教育科目

(エ) 健康・スポーツ科学に関する知識・技能を育成する科目

(オ) 初年次教育科目

2. 地域に基盤を置く公立大学で学ぶ学生としての意識を涵養するため、地域志向系科目をすべての学生が履修できるように学士課程全体を通じて配置する。

3. 地域で学ぶ社会の一員としての意識と国際的な視野を持ち、グローバル化し複雑・多様化する社会にあって、その変革に積極的に関与できるための知識・技能や実践的姿勢等を身につける体系的な教育プログラム（副専攻等）を、自らのキャリアデザインに応じて履修できるようにする。

4. 各学部では、学生がそれぞれの学問領域における高度な専門知識を学び、柔軟な思考を身につけることができるようカリキュラムを編成する。その際には「学修成果」の「技能」と「実践的姿勢」を伸長させるように、それぞれの学問的特色に応じて授業方法等を工夫する。

5. 各学部の特色に応じて、4年間（6年間）の学修を統合的に総括する教育を行う。

アドミッション・ポリシー（学生受入方針）

大阪市立大学は、学士課程の教育を通して、ディプロマポリシーに掲げた学修成果を修める学生を育成して教育目標を達成するために、人間性豊かで、多様な関心、柔軟な思考力を持ち、科学・産業・文化・社会の発展に寄与しようとする志を持つ、向学心旺盛で優れた資質を有する学生を、広く国内外から受け入れます。

そのために、本学の学士課程では以下の方針に基づいて入学者選抜を実施します。従って、この方針をよく理解したうえで、高等学校までの学びを深め、広めることを期待します。

(1) 高等学校教育段階においてめざす基礎学力を確認します。

(2) 本学の全学共通教育に十分に対応できる準備性を備えていることを確認します。

(3) 各学部のアドミッションポリシーに示す資質を備えていることを確認します。

商学部

「考える実学」教育方針のもと、実社会について旺盛な探究心と世界的視野をもって学修し、その成果をもって経済社会の発展に積極的に貢献しようと考える意欲と能力のある人間性豊かな人を求めます。

私費外国人留学生入試については、企業等の経営や会計、産業の諸領域に関わって、はば広い知識と専門的知識を学修する意欲と能力を有する人を求める。

経済学部

さまざまな学問的バックグラウンドを有する教員と若い個性的な学生とが、学問的な多様性の中で切磋琢磨して、プラクティカル・エコノミスト（社会が直面する課題を的確に捉え、それを経済学の素養を生かして分析し、解決の方途を他者との協働により複眼的な構想力を持って立案しうる人材）を養成するという本学部の伝統を踏まえ、次に掲げるような入学志願者を求めています。好奇心に富み、高い水準の基礎学力を備えた、プラクティカル・エコノミストの素質を持つ人材。すなわち、現代社会の諸問題に広く関心を抱き、バランスのとれた知的能力を有する人物。

法学部

- ・新しい問題に果敢に取り組む知的好奇心を持つ人
- ・自分を相対化するための想像力と豊かな人間性を持つ人
- ・相手の意見を的確に理解し、自分の意見を論理的に構成して、正確に表現・文章化する能力を持つ人
- ・法学・政治学の専門的知識を身につけるために必要な一般教養を有する人

文学部

文学部は、人間、社会、文化、言語に关心を持つ人間性豊かな人材を育成することを目標としています。それに対応して、以下のような人材を求める。

- ・人間の思考と社会・文化の生成発展について考えてみたい人
- ・人間行動の原理と社会のしくみについて考えてみたい人
- ・さまざまな言語や文学・芸術について考えてみたい人
- ・論理的思考を鍛え新しいものの見方を求めようとする人

理学部

自然科学の基本原理を理解する基礎学力を有する、以下のようない学生を求める。

- ・自然のなりたちや美しさに、尽きない感動と興味を抱いている人
- ・公式・知識の単なる暗記ではなく、ものごとを基本原理から理解したいと願っている人
- ・一見なんでもないようなことにも素朴な疑問やこだわりを持ち、自ら考えを推し進めるのが好きな人
- ・実験や観察を工夫したり、ものを作るのが好きな人
- ・集中して考え続けるのが好きな人

工学部

- ・明確な目的意識を持って主体的に学ぶ姿勢をもち、好奇心が旺盛で、工学を学ぶのに必要な基礎学力を備えている人
- ・モノづくり、システムづくり、技術開発、あるいは情報処理などに关心があり、自分で新しいものを創り出したい人
- ・人間社会や自然環境あるいはその調和における多くの問題に关心をもち、工学的手法でその解決を図りたい人
- ・日本語や英語などによるコミュニケーション、プレゼンテーション能力の向上に努め、世界レベルで工学に基づいた貢献をしてみたい人

生活科学部

生活者・消費者の視点から、人間生活の質的向上を目指して、人間が人間らしく生きるために必要な条件を科学的に追究し、実践する学問を目指す人を求める。具体的には次に掲げるとおりです。

- ・生活者の立場に立って、社会や環境などに関する生活課題に关心を持つとともに広い視野からその解決を目指す人
- ・修学や実務に基礎となる知識や能力、コミュニケーション能力を持つ人
- ・幅広く学習に取り組み、向学心を持つ人
- ・いろいろな立場の人と協力・協調しながらものごとを進めたり、適切なプレゼンテーションができる人
- ・自ら目標を定め、自律的に課題に取り組んだり、創造性を追求する人
- ・将来的には大学院に進み、専門的職業人や研究者を目指す人

目 次

1 学部・学科及び募集人員	2
2 出願資格	2
○ 出願に必要な「平成 27 年度(2015 年度)日本留学試験」の受験科目及び得点 ..	3
3 入試方法等	3
○ 「留学試験」の受験科目について	3
○ 「留学試験」(日本語以外の科目)の出題言語	3
○ 個別学力検査等	3
4 出願方法	4
5 受験上・修学上の配慮を希望する者の出願について	4
6 合格者発表等	4
7 私費外国人留学生募集要項(出願書類を含む)について	4
別表 日本留学試験及び個別学力検査等の教科・科目、配点	5
キャンパス・交通案内図	8
問い合わせ先	裏表紙

1 学部・学科及び募集人員

学部	学科	募集人員	学部	学科	募集人員
商 学 部	商 学 科	若干名		機 械 工 学 科	
経 済 学 部	経 済 学 科	若干名		電子・物理工学科	
法 学 部	法 学 科	若干名		電気情報工学科	
文 学 部 注1	哲 学 歴 史 学 科	若干名	工 学 部	化 学 バ イ オ 工 学 科	若干名
	人 間 行 動 学 科			建 築 学 科	
	言 語 文 化 学 科			都 市 学 科	
理 学 部	数 学 科	若干名	生 活 科 学 部 注2	食 品 栄 養 科 学 科	若干名
	物 理 学 科			居 住 環 境 学 科	
	化 学 科			人 間 福 祉 学 科	
	生 物 学 科				
	地 球 学 科				

※ 学力試験の成績により合格者を出さない場合があります。

注1 文学部の学科・コースの決定は第1年次の12月に行います。

なお、志望者多数の学科・コースでは、標準履修者数を基準として選抜を実施します。

そのため、志望する学科・コースに進めない場合があります。

2 生活科学部人間福祉学科は、心理臨床コースと社会福祉コースの2つを設置しています。

コースの決定は、第1年次終了時に行います。

なお、資格取得のためのカリキュラムの都合上、各コースには上限枠が設定されています。

志望者多数の場合、選抜を実施します。そのため、志望するコースに進めない場合があります。

2 出 願 資 格

出願できる者は、次の(1)～(3)のすべてに該当する者です。

(1) 日本国籍を有しない者

(2) 次の各号のいずれかに該当する者

① 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び平成28年3月修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者

② 本学において前号に準ずると認めた者

注 ②により出願しようとする者は、事前に資格認定審査を行いますので、平成27年11月16日(月)までに大学運営本部入試室(電話06-6605-2141 FAX06-6605-2133)に申し出てください。
申し出がない場合は、出願を受理できない場合があります。

- (3) 独立行政法人日本学生支援機構の「平成 27 年度（2015 年度）日本留学試験」（以下「留学試験」という）の第1回（6月実施）、第2回（11月実施）のいずれかを受験した者（5～7ページに記載する各学部所定の科目をすべて受験しなければならない）で、「留学試験」の得点が次の得点以上の人

商 学 部 「留学試験」の「日本語」（「読解」「聴解・聴読解」「記述」）の合計得点が 270 点以上で、「総合科目」と「数学（コース 1 又はコース 2）」、又は「理科（2科目）」と「数学（コース 1 又はコース 2）」の合計得点が 270 点以上の者

経 济 学 部 「留学試験」の各科目の得点による出願の制限はありません。（「留学試験」の受験科目は、5ページに記載する経済学部所定の科目を参照してください。）

法 学 部 「留学試験」の得点が「日本語」（「読解」「聴解・聴読解」「記述」）・「総合科目」・「数学（コース 1）」の合計得点で 600 点以上の者

文 学 部 「留学試験」の「日本語」（「読解」「聴解・聴読解」）の合計得点が 200 点以上、「日本語」（「記述」）の得点が 33 点以上の者で、「総合科目」と「数学（コース 1）」の合計得点が 240 点以上の者

理 学 部 「留学試験」の「日本語」（「読解」「聴解・聴読解」「記述」）の合計得点が 225 点以上で、「理科（2科目）」と「数学（コース 2）」の合計得点が 240 点以上の者
(学科によって受験科目が異なります。6ページ 別表を参照してください。)

工 学 部 「留学試験」の「日本語」（「読解」「聴解・聴読解」「記述」）の合計得点が 225 点以上で、「理科（2科目）」と「数学（コース 2）」の合計得点が 240 点以上の者

生活科学部 「留学試験」の「日本語」（「読解」「聴解・聴読解」）の合計得点が 200 点以上、「日本語」（「記述」）の得点が 25 点以上の者で、「理科（2科目）」又は「総合科目」と「数学（コース 1 又はコース 2）」の合計得点が 240 点以上の者
(学科によって受験科目が異なります。7ページ 別表を参照してください。)

注 「留学試験」の成績とは、「平成 27 年度（2015 年度）日本留学試験」の第1回（6月実施）受験者であれば 7月 24 日（金）に、第2回（11月実施）受験者であれば 12月 15 日（火）に独立行政法人日本学生支援機構より発送予定の成績通知に記載されている得点をいいます。

なお、各科目的得点範囲は、次のとおりとなります。

日本語 [読解 0～200 点、聴解・聴読解 0～200 点、記述 0～50 点]

理科 [2科目 0～200 点]

総合科目 [0～200 点]

数学 [0～200 点]

3 入 試 方 法 等

入試は、「留学試験」の成績、個別学力検査等の成績及び出願書類の内容を総合して行います。

(1) 「留学試験」の受験科目について

別表（5～7ページ）のとおりです。

各学部・学科所定の「留学試験」の科目を受験しておいてください。

受験していない場合は、失格となります。

(2) 「留学試験」（日本語以外の科目）の出題言語

①商学部・経済学部・生活科学部は、日本語又は英語

②法学部・文学部・理学部・工学部は、日本語

(3) 「留学試験」及び個別学力検査の教科・科目、配点は、別表（5～7ページ）のとおりです。

(4) 個別学力検査等 平成 28 年 2 月 25 日（木）・26 日（金）

4 出願方法

本学所定の出願封筒を使用し、次の送付先に必ず書留速達郵便により送付してください。

(1) **出願期間**

平成27年12月17日（木）～12月25日（金）【12月25日17時必着】

※ただし、12月24日（木）以前の発信局（日本国内）消印のある「書留速達郵便」に限り、期限後に到着した場合でも受理します。また、最終日の15時から17時のみ入試室（杉本キャンパス学生サポートセンター2階）の窓口でも受け付けます。

(2) **送付先**

〒558-8585 大阪市住吉区杉本3丁目3番138号 大阪市立大学大学運営本部入試室

5 受験上・修学上の配慮を希望する者の出願について

障がいを有する等の理由により、本学の受験上・修学上の配慮を希望する者は、平成27年11月4日（水）までに、志願する学部教務担当に申し出て相談してください。

なお、平成27年11月5日（木）以降においても、可能な限り対応いたしますが、できる限り11月4日（水）までに申し出てください。

6 合格者発表等

(1) **合格者発表日** 平成28年3月11日（金）

(2) **入学手続指定日** 平成28年3月17日（木）

7 私費外国人留学生募集要項(出願書類を含む)について

※ 平成27年10月上旬から配付する予定です。

(1) **大学のホームページから請求する場合** (<http://www.osaka-cu.ac.jp/>)

大学のホームページから直接、テレメールによる資料請求ができます。

(2) **テレメールで請求する場合**

<http://telemail.jp> にアクセスしてください。

資料請求番号：959830

※ 送料及び手数料要



バーコード

※対応できる携帯電話で読み取れます。

(3) **郵便で請求する場合**

ア 請求する封筒の表に「私費外国人留学生募集要項請求」と「赤色」で書き、裏には差出人の郵便番号・住所・氏名・電話番号を記入してください。

イ 返信用封筒（封筒の表に「ゆうメール」と「赤色」で記載のうえ、300円分の返信用切手を貼り、受取人の郵便番号・住所・氏名を明記したもの〔角型2号（24.0cm × 33.2cm）〕を同封してください。

ウ 請求先 〒558-8585 大阪市住吉区杉本3丁目3番138号 大阪市立大学大学運営本部入試室

◎日本留学試験及び個別学力検査等の教科・科目、配点

学部・学科 教科・科目、 配点等	日本留学試験		個別学力検査等	
	科 目	配 点	教 科 ・ 科 目 名 等	記 点
商 学 部 商 学 科	日本語 (「読解」「聴解・聽読解」「記述」)	450	外国語(「英語[コミュニケーション 英語Ⅰ・コミュニケーション 英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現 Ⅰ・英語表現Ⅱ]」) 口 述 (注1)	400 計 400
	理科から2科目選択 又は総合科目	200		
	数 学 (コース1又はコース2)	200		
	計	850		
経 済 学 部 経 济 学 科	日本語 (「読解」「聴解・聽読解」)	200	数学(「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・ 数学B」) 外国語(「英語[コミュニケーション 英語Ⅰ・コミュニケーション 英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現 Ⅰ・英語表現Ⅱ]」、を必須として、問題の一部について「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」から1 科目選択) 作 文(日本語による) 口 述(勉学意欲等を聞く) (注1)	100 200 100 400
	総合科目	100		
	数 学 (コース1又はコース2)	100		
	計	400		
法 学 部 法 学 科	日本語 (「読解」「聴解・聽読解」「記述」)	100	外国語(「英語[コミュニケーション 英語Ⅰ・コミュニケーション 英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現 Ⅰ・英語表現Ⅱ]」、「ドイツ語」、「フランス語」、から1 科目選択) (注3) 作 文(社会科学一般、日本語によ る) 口 述 (注1)	200 200 400
	総合科目	50		
	数学(コース1)	50		
	計	200		

教科・科目、配点等 学部・学科	日本留学試験		個別学力検査等	
	科 目	配 点	教 科・科 目 名 等	配 点
文 学 部	日本語 (「読解」「聴解・聴読解」)	200	国 語(「国語総合・現代文B」)	
	総合科目	100	外国語(「英語[コミュニケーション英語I・コミュニケーション英語II・コミュニケーション英語III・英語表現I・英語表現II]」を必須として、問題の一部について「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国・朝鮮語」から1科目選択)	国 語 200 外 国 語 200 作 文 100 口 述 100
	数学(コース1)	100	作 文(日本語による) 口 述	
	計	400		計 600
理 学 部	日本語 (「読解」「聴解・聴読解」「記述」)	450	数 学(「数学 I・数学 II・数学 III・数学A・数学B」) (注2)	
	理 科 数学科、生物学科、 地球学科は2科目選択	200	理 科(「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」、「地学基礎・地学」から2科目選択。ただし、物理学科は「物理基礎・物理」を、化学科は「化学基礎・化学」をそれぞれ必須とする。) (注4)	数 学 200 理 科 200 外 国 語 200 口 述 200
	物理学科は物理必須、 化学及び生物から1科目選択			
	化学科は化学必須、物 理及び生物から1科目選択			
工 学 部	数学(コース2)	200	外 国 語(「英語[コミュニケーション英語I・コミュニケーション英語II・コミュニケーション英語III・英語表現I・英語表現II]」)	
	計	850	口 述	計 800
	日本語 (「読解」「聴解・聴読解」「記述」)	200	数 学(「数学 I・数学 II・数学 III・数学A・数学B」) (注2)	
	理 科 (物理及び化学必須)	100	理 科(「物理基礎・物理」と「化学基礎・化学」の計2科目) (注4)	数 学 250 理 科 200 外 国 語 150 口 述 100
	数学(コース2)	100	外 国 語(「英語[コミュニケーション英語I・コミュニケーション英語II・コミュニケーション英語III・英語表現I・英語表現II]」を必須として、問題の一部について「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国・朝鮮語」から1科目選択)	
	計	400	口 述	計 700

教科・科目、 配点等	日本留学試験		個別学力検査等	
	科 目	配 点	教 科・科 目 名 等	配 点
生 活 科 学 部	日本語 (「読解」「聴解・聴読解」「記述」)	100	数学(「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B」) (注2)	数学 150
	理科から2科目選択	150	理 科(「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」から1科目選択)	理科 150
	数学 (コース1又はコース2)	100	外 国 語(「英語[コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ]」) (注4)	外 国 語 150
	計	350	口 述 (注1)	計 450
	日本語 (「読解」「聴解・聴読解」「記述」)	100	数 学(「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B」) (注2)	数 学 150
	理科から2科目選択 又は総合科目	50	外 国 語(「英語[コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ]」)	外 国 語 150
	数学 (コース1又はコース2)	50	口 述 (注1)	計 300
	計	200		
人間福祉学科	日本語 (「読解」「聴解・聴読解」「記述」)	100	外 国 語(「英語[コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ]」)	外 国 語 150
	理科から2科目選択 又は総合科目	50	国語又は数学 「国語総合・現代文B」、「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B」から1教科選択 (注2)	国語又は数学 150
	数学(コース1)	50	口 述 (注1)	計 300
	計	200		

(注1) <口述>は合否で判定し、総合判定の資料とします。

(注2) 個別学力検査等の数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学Aは全範囲からの出題とします。数学Bは「数列」、「ベクトル」を出題範囲とします。

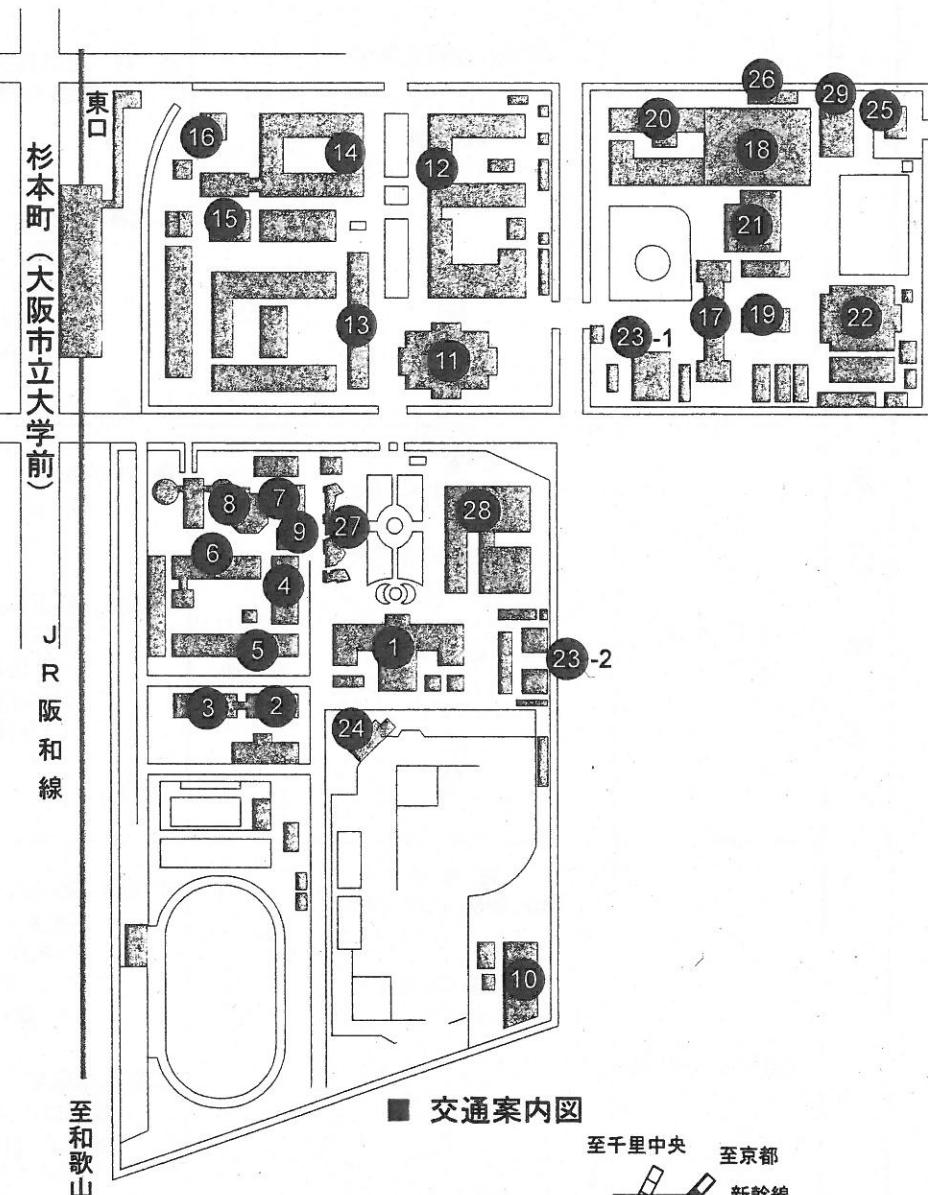
(注3) 個別学力検査等の外国語は、出願時に1科目選択のうえ出願してください。

(注4) 個別学力検査等の「物理基礎・物理」は物理基礎及び物理の全範囲から、「化学基礎・化学」は化学基礎及び化学の全範囲から、「生物基礎・生物」は生物基礎及び生物の全範囲から、また「地学基礎・地学」は地学基礎及び地学の全範囲からの出題とします。

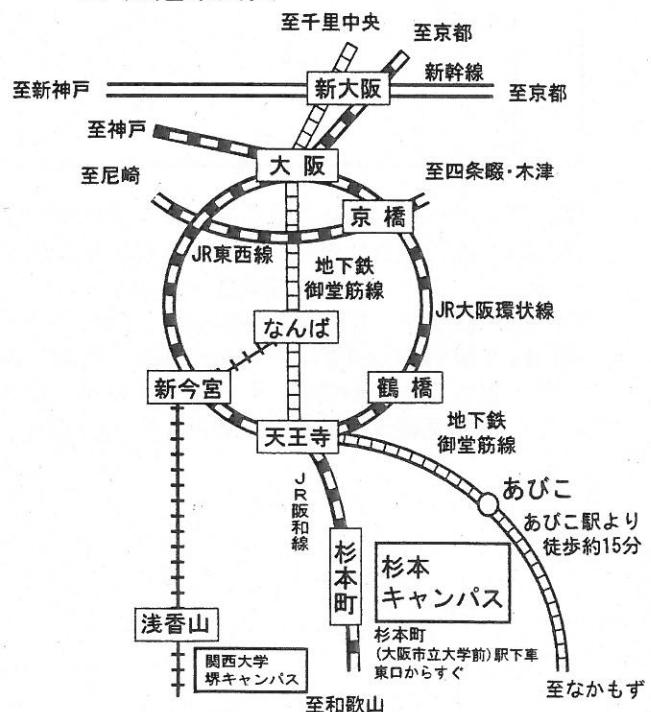
■ 杉本キャンパス

〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138
JR「杉本町(大阪市立大学前)」駅下車、東口からすぐ
地下鉄御堂筋線「あびこ」駅下車、4号出口より南西へ徒歩約15分

- ① 1号館 (事務室〔職員課、財務課、管理課、学術企画課、研究支援課〕)
- ② 商学部棟
- ③ 経済学部棟
- ④ 法学部棟
- ⑤ 文学部棟
- ⑥ 経済研究所棟 (創造都市研究科、人権問題研究センター、証券研究センター)
- ⑦ 都市研究プラザ
- ⑧ 田中記念館
- ⑨ 保健管理センター
- ⑩ 河海工学実験場
- ⑪ 学術情報総合センター (大学史資料室、事務室〔企画総務課、学術情報総合センター運営課〕)
- ⑫ 理学部棟
- ⑬ 工学部棟
- ⑭ 生活科学部棟
- ⑮ 工作技術センター
- ⑯ 心理臨床室
- ⑰ 2号館
- ⑱ 全学共通教育棟 (事務室〔学務企画課〕)
- ⑲ 4号館
- ⑳ 基礎教育実験棟
- ㉑ 第1体育館
- ㉒ 第2体育館
- ㉓-1 第1学生ホール
- ㉓-2 第2学生ホール
- ㉔ 硬式野球場スタンド
- ㉕ ゲストハウス
- ㉖ 新産業創生研究センター
- ㉗ 高原記念館
- ㉘ 学生サポートセンター
- ㉙ 共通研究棟



■ 交通案内図



<問い合わせ先>

杉本キャンパス

〒558-8585 大阪市住吉区杉本3丁目3番 138号

交通機関：JR阪和線「杉本町（大阪市立大学前）」駅下車、東口からすぐ

地下鉄御堂筋線「あびこ」駅下車、4号出口から南西へ徒歩約15分

●電話番号

商 学 部 06-6605-2201

経 済 学 部 06-6605-2251

法 学 部 06-6605-2303

文 学 部 06-6605-2353

理 学 部 06-6605-2504

工 学 部 06-6605-2653

生活科学部 06-6605-2803

●受付時間 月～金曜日（土、日、祝日を除く）

9:00～17:00（ただし、12:00～12:45を除く）



大阪市立大学
OSAKA CITY UNIVERSITY

大学運営本部 入試室

〒558-8585 大阪市住吉区杉本3丁目3番 138号

TEL 06-6605-2141 FAX 06-6605-2133

平成27年6月発行